

## 会 議 録

会議の名称	第48回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	令和元年5月18日(土) 午後3時30分～5時30分	
開催場所	市役所第二庁舎8階 801会議室	
出席者	五園連	宗片 匠 委員 (くりのみ保育園) 鈴木 丈士 委員 (くりのみ保育園) 大島 康宏 委員 (わかたけ保育園) 佐藤 公美 委員 (わかたけ保育園) 間 綾乃 委員 (小金井保育園) 中 英弘 委員 (小金井保育園) 本間 義顕 委員 (さくら保育園) 小林 麻意子 委員 (さくら保育園) 大越 郁子 委員 (けやき保育園) 角田 真理 委員 (けやき保育園)
	市	大澤 秀典 委員 (子ども家庭部長) 三浦 真 委員 (子ども家庭部保育課長) 平岡 良一 委員 (子ども家庭部保育政策担当課長) 前島 美和 委員 (くりのみ保育園園長) 杉山 久子 委員 (わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員 (小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員 (さくら保育園園長)
欠席者	市	池田由美子 委員 (けやき保育園園長)
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	15人	
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 委嘱状交付 4 自己紹介 5 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) 第Ⅲ期での協議内容について (3) 当面の課題について (4) その他	

発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨）	別紙のとおり
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 挨拶</li> <li>3 委嘱状交付</li> <li>4 自己紹介</li> <li>5 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前回会議録の確認</li> <li>(2) 第Ⅲ期での協議内容について</li> <li>(3) 当面の課題について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> </ol>
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 資料222 小金井市公立保育園運営協議会（第Ⅲ期）委員名簿</li> <li>(2) 資料223 公立保育園運営協議会アンケート集計（抜粋）</li> <li>(3) 資料224 平成30年度公立保育園の運営に関するアンケート 回答用紙</li> <li>(4) 資料225 公立保育園民営化資料の受領状況【保護者委員提出資料】</li> <li>(5) 資料226 公立保育園職員状況</li> </ol>
その他	なし

令和元年5月18日

開 会

- 大澤委員長　それでは、ただいまから、小金井市公立保育園運営協議会のほうを開会いたします。
- 議事に入ります前に、委嘱状の交付を行います。本来ですと、市長が出席をしまして、ご挨拶を申し上げた上、委嘱状を交付させていただくところでございますが、本日は他の公務と重なっており、欠席をさせていただきますので、ご了承願います。
- この5月から、新たに委員に推薦されました3人の保護者委員の皆様のお手元の封筒の中に委嘱状が入っておりますので、ご確認いただき、そちらのほうをもちまして、委嘱状の交付とさせていただきますと存じます。
- それと、本日は年度最初の運営協議会であり、市の委員も含め委員の交代などもございましたので、改めて皆様のほうに自己紹介のほど、お願いしたいと思います。
- なお、資料222といたしまして、小金井市公立保育園運営協議会（第Ⅲ期）委員名簿を作成し、お配りしておりますので、改めてこちらのほうもお名前等、誤りがないかご確認をお願いいたします。
- それでは、簡単な形で大変恐縮ですが、自己紹介のほうに移らせていただきたいと思います。
- まず、本運営協議会の会長を務めております、子ども家庭部長の大澤と申します。よろしく願いいたします。
- 本間委員長　同じく保護者側の共同委員長というところで務めさせていただきます、本間と申します、さくら保育園です。昨年もお話をさせていただいたんですけども、いろいろ民営化というところで財政だの何だのと、やっぱり大人の事情というか、いろいろな話にはなりますけれども。まずは各園に通われている子どもたち、そして保育園だけではなくて、いろいろな環境で育っている子どもたちのために何ができるかというところを、まず検討できればと思っているので、いろいろな議題があると思いますが、広く皆様のご意見をいただければと思いますので、また1年間、どうぞよろしく願いいたします。
- 宗片委員　くりのみ保育園の宗片です。よろしく願いいたします。
- 鈴木委員　同じく、くりのみ保育園の鈴木です。よろしく願いいたします。

- 大島委員 わかたけ保育園の大島です。よろしくお願いします。
- 佐藤委員 同じく、わかたけ保育園の佐藤です。よろしくお願いします。
- 間委員 今年度から、初めて運協の協議会のほうに参加させていただきます、小金井保育園の間と申します。よろしくお願いいたします。
- 大澤委員長 今、あと中さんがちょっとおこなっているのですが、またお見えになったら、ご紹介させていただきたいと思います。小林さん。
- 小林委員 私も、今年度から初めて協議会委員となりました、さくら保育園、小林です。よろしくお願いいたします。
- 大越委員 けやき保育園の大越です。よろしくお願いします。
- 角田委員 同じく、けやき保育園の角田です。よろしくお願いします。
- 柴田委員 さくら保育園の園長をしています、柴田と言います。よろしくお願いします。
- 小方委員 小金井保育園、園長の小方です。よろしくお願いします。
- 杉山委員 わかたけ保育園の園長の杉山です。よろしくお願いいたします。
- 前島委員 くりのみ保育園の園長の前島です。よろしくお願いします。
- 三浦委員 私も、今年度から初めて参加します、三浦と申します。よろしくお願いします。
- 平岡委員 3年目となります、保育政策担当課長の平岡です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 大澤委員長 なお本日、けやき保育園の園長である池田につきましては、ちょっと他の公務がありまして、きょうは欠席という形になります。含めまして、総勢18人で、こちらのほうを運営してまいりたいと思いますので、ひとつ皆様方、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、議事のほうに入らせていただきたいと思います。

まずは、前回の会議録の確認を議題といたします。

前回の会議録について、委員の皆様には校正をお願いしましたが、提出期限までに事務局宛てに訂正等のご連絡はいただいておりますので、前回の会議録について、校正依頼した内容をもって確定をさせていただきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

それでは、異議がございませんので、前回の会議録につきましては確定をさせていただき、会議録につきましては、速やかにホームページのほうに公開をさせていただきたいと存じます。

中さん、改めてすみません。今、一通り自己紹介をしたんですけども、中さんのほ

うからもここでいただけますでしょうか。

○中委員 小金井保育園の中と申します。きょうはよろしく願いいたします。

○大澤委員長 続きまして、(2)の第Ⅲ期での協議内容についての、アのアンケートについてを議題といたします。

初めに、資料223の公立保育園運営協議会のアンケート集計の抜粋について、三浦課長のほうからご説明をいただきますが、前回、第47回の運営協議会の中でも、こちらのほうのアンケートにつきまして、保護者委員のほうからアンケートの結果から改善できる項目は何なのか列挙した中で、次の議論を決めればよいのではないかというご意見や、どういう施策をするのか、どういう対処をするのかを踏まえたスケジュールが見えるといいというようなご意見等もいただいたところでございます。

また、行政として協議検討をするテーマとして何なのかを示してもらいたいというようなご意見も承った中で、市のほうといたしまして、満足していない項目に関する部分や、市の対応、また施策の考え方をまとめられる部分については、まとめてご用意したいというふうな形でお答えをさせていただいたところでございます。

本日、資料として223をこれからご説明をさせていただいた後、行政としての見解につきましては、ちょっと口頭というふうな形になるかと思っておりますけれども、その旨でご説明をさせていただきたいというふうに思います。

それでは、三浦委員よりご説明の方、よろしく申し上げます。

○三浦委員 保育課長、三浦です。

それでは、資料223につきまして、ご説明をいたします。この資料につきましては、公立保育園運営協議会で実施をしてございます、公立保育園の運営に関するアンケートについて、平成28年から平成30年の3年間のトレンドというか、結果を集計し、まとめたものでございます。3年間の経年比較を行うことで、保護者の方々の公立保育園に対する考え方や課題と感じていること、その他ニーズ等や傾向、その変化を確認し、今年度のアンケート実施の方向性を検討する際の参考にできればというふうに思って作成をしたものでございます。

集計の対象は、アンケート項目のうち、設問1-(a)、1-(b)、設問2-(1)としてございます。なお、資料1ページにも記載させていただいているとおり、年度により回答数にばらつきがございます。単に回答数を比較すると、経年での傾向をつかむことが難しくなるというふうに考えまして、回答数ではなく、年度ごとに全体の回答数

に対する割合を算出することで比較を行ってまいりました。それでは、内容についてご説明をいたします。

2ページをお開きください。この2ページ以降、各設問に対する年度ごとの回答割合の集計結果と、集計結果から読み取れることといいますか、行政のほうでこんなふうを考えているというところを、ご説明させていただきます。

初めに、設問1－(a)でございます。こちらは「現状の小金井市の公立保育園に満足していますか？」という設問に対する回答をまとめたものでございます。上から平成28年度、平成29年度、平成30年度のそれぞれの回答率を帯グラフで表現をしております。

この表のとおり、公立保育園に満足していますかという設問に対しまして、「満足している」または「概ね満足している」と回答した割合は、この3年間の中で一番低い平成29年度において86.2%、平成28年度、平成30年度は、ともに90.8%となっておりまして、満足度は高い水準を維持しているものと考えてございます。

次に、その下の設問でございます。こちらは設問1－(a)において、「満足している」、または「概ね満足している」を選択された方に対し、その理由を①から⑱の項目から選んでもらった結果のグラフでございます。各項目ごとに三つの棒グラフが右に伸びておりますが、一番上が平成28年度、真ん中が平成29年度、下が平成30年度の結果となっております。理由の選択につきましては五つ以内としてございますので、人によって五つ選ぶ方、一つ、二つしか選ばないなど、その表現の方法はさまざまございました。

この表のとおり、19項目のうち「満足している」、または「概ね満足している」理由として、3年間を通じて高い割合で選択されているのは、①の保育内容、②保育士の園児への対応、④給食の内容となっております。いずれの年も50%を超える方が「満足している」または「概ね満足している」理由として、この三つの項目を挙げてございます。

参考までに、一番右側に星印をつけたものが、上位三つというふうに印をつけてございます。

次に進んで、3ページでございます。こちらは、設問1－(a)において、「あまり満足していない」または「不満である」を選択したものを、その理由を①から⑱項目について選んでもらった結果のグラフでございます。

グラフの下の参考のところをごらんをいただきますと、あくまで設問1－(a)において、「あまり満足していない」または「不満である」を選んだ人がその理由として選択した回答をグラフ化したものなので、回答実数といたしましては「満足している」または「おおむね満足している」を選択した方々の理由と比べて、少ない中での集計となっております。

表のほうをごらんをいただきまして、この表のとおり、保育士の人数というところが、3年間を通じて理由の1位となっております。残念ながら、その割合は年々増加してきているところでございます。そのほか保育内容、保育士の父母への対応、保育行事を理由に挙げている人の割合が比較的高く、年度によっては30%を超えている実情もあるところでございます。

次に、最後のページでございます、4ページ。こちらは保育や保育園関係等で市に要望したいということについて、AからUの21項目について、五つ以内で選んでいただいた結果のグラフでございます。アンケート実施時には、優先順位を1から5を記載する形で回答いただいておりますが、今回の集計では、順位に関係なく項目として選択された数を集計し、割合を算出しております。

この表のとおり、市に要望したいことの1位は、3年間を通じて「O 保育士の欠員を含めた体制の問題」となっておりまして、3年間を通じて60%を超えてございます。そのほかの項目として選択されている割合が多いものとして、「K 民営化問題の解決」、「T 施設面の改善」、こちらは年々選択される割合が増加している傾向が見てとれます。その他、「B 病児保育」、「K 民営化問題の解決」、「Q 待機児童解消」は、3年を通じて30%を超えてございます。なお、「Q 待機児童解消」につきましては、年々選択される割合が減少傾向を示しているところでございます。

その下、参考としているところのグラフでございますが、市に要望したいこととして回答されている中で、優先順位が1位だったもの、1番だった回答のみを集計した結果の表でございます。上の表が保護者の方が持っている問題意識となっております、1番高いところは、やはりOのところ、続いて民営化問題の解決というふうになってございます。

設問2－(1)のところ、一番最後の表は、要望したいことの1位だけを集計した表ということでご理解をいただければと思います。

私のほうからの説明は以上でございます。

○大澤委員長　　まず、3カ年のアンケートの状況等について分析等をさせていただいた結果というところで、資料をお出しさせていただいたところです。3年間を見る限り、それぞれのアンケートの結果というところに関しては、大きく変わっていない部分があるのかなというふうに思っています。また、不満足なものや市に求めているものにつきましては、既にこちらのほうの運協にても議題になっている状況もあるかなというふうに思っており、こちらの結果等も踏まえて、事務局の我々のほうも、保護者委員の皆様からちよつとご意見を承りたいというような形の観点で、この資料のほうを整理をさせていただいたというところでございます。

そこで、こちらのほう、まず資料223を通じて、この集計結果等を踏まえて、ご質問等がございましたら、そちらのほうからまず承っていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願いいたします。

○本間委員長　　冒頭におっしゃられた、行政としての分析というところは、今大澤さんのほうからおっしゃっていただいた、傾向が変わっていないねというところと、運協で挙がった論点が多いですねというところ、ということで合っていますか。

○大澤委員長　　はい。

○本間委員長　　今のお話なんですけど、今、皆様方がご説明いただいた、例えば民営化問題の解決とかは増加傾向にあるねとか、あとは待機児童解消のところについては減少の傾向がありますねであったりとか、あとは毎年30%を超えているような問題がありますよねとか、いろいろと分析結果をいただいたんですけど、それぞれについて変動があったものは、じゃあ何で変動があったんだろうという深掘りだったりとか、変動がなかったものについては、ここで議論に上がっていればあれです、上がっているっちゃ上がっているんですけども、市としてどういうふうに考えていくのかとか、どれぐらいのめどで、例えば解消できるんじゃないかと思うか、今ネックだから解消はなかなか、当面は難しいのではないかと。そういう、もうちょっと突っ込んだ分析というのは、される予定があるのか。今おっしゃっていただいたような、大きく傾向は変わっていないねみたいな話は、どちらかというそれは表面上かなというイメージがあるんで、そこら辺を何か突っ込まれる予定とかあってあたりしますかねというご質問なんですけれども。

○大澤委員長　　市に要望したいことに関しての今後というふうなところと、現状というところのご質問かというふうに思っていますが、それに関して、三浦委員のほうから。

○三浦委員　　例えば、今回、分析資料ということでお話をいただきまして、おっしゃるとおりトレ



ンドで見ただけという形にはなっちゃっているのは実情なんです。これを、じゃあ3年間で、その理由がどこにあるのかという、もう少し突っ込んだ分析というところなんです。アンケートそのものを選んでいただいているところがあるので、その回答をされた方がどういう思いでそこを選んでいただいたかというところに突っ込んでいくのは、このアンケートだけを表面的に捉えると、なかなか難しい。

ただ一方で、保育内容というのは満足しているのでも1番ですし、あまり満足していないところでも高い評点がついていますよね。こういうところは、ちょっと私も分析していて、表裏一体かなという思いもあったりもします。逆に、保育士の人数というところは、満足も不満足も高い数字が出ているんですが、ここはちょっと私どものほうで、体制がきついというところの裏返しかなというところもございます。

なので、各論考、19項目ですかね、ちょっと突っ込んでいくところは、なかなか厳しいかなという思いもあって、ちょっとトレンドの分析をしてみたというのが、現実のところでございます。

以上です。

○大澤委員長 大島委員。

○大島委員 わかたけの大島です。

このアンケートにつきましては、公立保育園の結果として出ているものとありますけれど、前のご説明の中で、民間保育園に関しましても、同じようなサービスができますよというお話がありまして。じゃあ民間保育園のほうと、ちょっと難しいかもしれないんですけど、このようなアンケート結果が、果たして出るんでしょうかという。ちょっと難しい質問になってしまいますけど、まずご意見としていただきたいなと思います。

○大澤委員長 民間の保育園に同様なアンケートした場合。

○大澤委員長 平岡委員、お願いします。

○平岡委員 平岡です。

民間さんとの比較ということで、今、大島委員からお話いただいたとおり、同じレベル感のアンケート調査の実施は確かにはしていないんですが、逆の考え方で、3年に1度、第三者評価というものを受けておりまして、その中で保護者の方向けのアンケートというのが実際実施されて、公開されている状況があります。

その中においては、満足度という部分においては、公立、民間という切り口だけをもって差があるというような形ではなくて、やはり各園の特徴などの中での差が生じてい

るようすけども、公立だから民間だからといって、大きくトレンドが異なるような状況はございませんので、そういった中では、既に大きな差はないというふうには思っているところではあります。

○大澤委員長 民間のほうでも、第三者評価というのがあります。利用者の満足度というんでしょうか、そういったところでのアンケートをとられており、第三者評価については公表というような形になってございますので、そちらのほうで対応しており、本市、小金井市のほうから、そちらのほうの民間のほうも含めたアンケートというところは、現状としてはとったことはないのかなという認識を私は持っています。

○大島委員 大島です。

ちょっと不勉強で申しわけないんですけど、第三者評価、民間のほうというのは、毎年やられているわけではなくて、数年に1回というところと、それで傾向として見えているかというところと。これは毎年やられているので、結果として明らかに満足というのが見えていますけど、本当にその比較でよろしいんでしょうか。今の分析といいますが、同じように満足されていますという分析の仕方よろしいんでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

すみませんが、具体的に、そのアンケート項目自体をちょっと手元に持ち合わせていないので、具体的なお説明をし切れる状況ではないんですけども、公立保育園も民間保育園も、同じように第三者評価を受けておりますので、その同じ第三者評価の俎上の中で比較をする限りは、満足度であるとか、要望の部分について、大きな差は見受けられないというふうには理解をしておりますので。

第三者評価は、制度上、3年に1度は受けるようにというような制度になっておりまして、民間の園によっては、社の方針などで毎年必ず受けているところもありますので、状況によつての比較はまちまちになるかと思うんですが、基本的には3年に1度必ず受けているものですので、その3年に1度の最新の情報を比較した限りにおいては、大きな差は市のほうでは見られなかったというふうには理解をしております。

○大島委員 同じ、今答えをいただきましたので、わかりました。

○大澤委員長 ほかに。

大越委員。

○大越委員 けやき、大越です。

お忙しい中、作成いただいて、ありがとうございます。見る限り、ほとんどの保護者

が満足しているというところと、あとやっぱり4ページ目のところ、一番要望したいところは、保育士の欠員を含めた体制の問題が圧倒的に多いかなと。どこの結果を見ても、その点が一番不満なのかなというのが、これを見て、すごくよくわかりました。なので、一番手を入れないといけないのは、やっぱりこの保育士の体制を整えるところなのかなと思うんですけども。

ちょっと対応策のところ、この意見提案シートにも書いてあったんですけども、アンケートをとるだけとって終わってしまうんじゃなく、これをどう対処していくかという具体的な議論が、またこの場でできれば、していければいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。多分、今までもやってきたと思うんですけども。

○大澤委員長 保育士の体制について、この場で議論できないかという趣旨でしょうか。

○大越委員 どういう、ここを解消していくために、どういうふうやっていくのかとか。結果だけ、分析だけ出して、これで、じゃあ、おしまいですじゃなく、どう解決していくかという話し合いをしていかないと、ちょっとせつかくとっても、もったいないのかなというところを感じました。

○大澤委員長 これについて、三浦委員から何かありますか。

○三浦委員 なかなか厳しいご指摘ですよ。確かに体制の問題というのは、この表にあらわれているとおり、皆さんちょっと不満というか、余りご満足をいただけてない状況があるのかというところは事実だと考えます。

一方で、ここにも園長さんいらっしゃいますけれども、満足しているというところで、保育士の園児の対応というところは満足度が高いという実態もございますので。これは本当に、ひとえに園の皆さんが頑張っていたらいるんだなというところは、私も認識をしているところです。

一方で、その体制の問題となってくると、なかなかここで、じゃあこうしよう、ああしようというような話も難しいところではあるんですけども、ぜひその辺については、私も含め庁内の中でもどのように整理をしていくのか、ちょっとこの場で即答はなかなか難しいですが、考えてまいりたいというふうに思っているところでございます。

○大澤委員長 保育士の体制については、いつも欠員の状況という形で資料を出させていただいている状況かなと思っています。それで募集の関係についても、同じパターンにはなってしまいますけども、そちらのご報告をさせていただいたり。また、皆様方の委員さんのほ

うから貴重なご意見を承って検討をさせていただいているというところで、一応議題の項目としては挙がっているのですが、一応そちらの中では細かく検討と言えるのかどうかというところはあるかと思えますけれども、議題としては触れている内容ではあるのかなというふうに、私としては思っておるところでございます。

ですので、職員体制のところを全然、触れていないというところまでは言えないのかなというふうな形で思っております。

○大越委員 けやき、大越です。

すみません、資料の226見ていただいてもわかるんで、けやき、欠員が16人という。この資料、説明はまだこれからなんで、先走って申しわけないんですけど。欠員、これ欠6、欠1と数えていくと、12という認識でよろしいでしょうか。

○三浦委員 保育課長です。

後ほど説明しようとは思っていたんですけども、ちょっと4月1日現在の状況ということで、お含みおきください。その後も採用試験等々をやって募集をかけて、補充できているところ、あるいは補充を予定できているところも若干あったんですが、4月1日時点ではこのような状況だったというところでございます。

近々のうちにも、まだ足りないところについては、何とか手当てできるように頑張っていきたいなというふうに思っております。

○大澤委員長 大越委員。

○大越委員 けやき、大越です。

事故があつてからだと、本当に子どもの命にかかわるところですので、ちょっとぜひ早急に対応していただきたいなと。お忙しい中、無理を申して申しわけないですけども、ぜひ早急に対応していただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○大澤委員長 角田委員。

○角田委員 けやきの角田です。

資料の作成、ありがとうございます。幾つかあるんですけども、とりあえず経過がとれるところをダイジェスト版としてまとめられたという話は伺っているんですけど、この後に、特に要望したいことの1位である保育士体制の問題とか、深掘りの設問自体は3番か4番かにあったと思ひまして。それ自体も、その年で3回やっていると思うんですけども、そのあたりの集計分析というのは、特に今後される予定はないのかということが一つと。

あと、それぞれの要望だとか、ご利用するに当たって、このアンケートの特徴は数だけじゃなくて、一つ一つの要望の深さをはかるために自由回答を設けているタイプのアンケートだと思うんですけども。そのあたり、市のほうで読まれているのかどうかを伺いたい。

あと、特に大きな変化はないというふうに、大澤委員長はおっしゃってはいたんですけども。例えば設問2-(1)の市に要望したいことの1位から5位のもので、まとめに関しても、30年度のアンケートで、初めて施設面の改善が3位に入ってきたりしていて、ちょっと変化は出てきていると思うんです。そのあたり、一方で、市に要望したいことの1位を回答した人だけのまとめで見ると、逆に5位に落ちていて、1位にしている人はわずかである。ただ、全体の合計数として3位に飛び出してきているという現状がある中で、これについても自由回答の部分を含めてみると、何でそうなったのかというのが読み取れてくると思うんですけども、そのあたりのことをされているのかどうか伺いたいです。

○大澤委員長　今3点ご質問があったと思っていますので、そちらのほうについて、どちらかにお願いしていいですか。

○平岡委員　平岡です。

今回、前回の会議のところでも申し上げた形ではあったんですが、なかなか全体的なものについての経年比較というところまで、こちらのほうでできていない状況がある中で、二つほど切り口を申し上げて、させていただいたところであります。

人員の部分については、現時点では、こちらのほうでお出しするという想定を、ちょっと現時点では持っておりませんでしたので、今後の状況を見ながら検討をさせていただければというふうに思っております。

また、記述のところにつきましては、私ども市側の委員長も含めて、全体読ませてもらっているという状況はございます。また、集計にはなっておりませんが、最終版という形では全て記載をさせていただいておりますので、そういった中でも拝見するということではあるんですが。その中からトレンドですとか、そういう部分までちょっと導き出すところまでは、私どものほうでもちょっと至っていないというようなところはあるかなというふうには思っております。

あと、今、角田委員からおっしゃっていただいているとおり、大きなトレンドとしては変化がないというような趣旨での説明だったかなというふうには思っております。た

だ、個別比較していく中では、おっしゃるとおり施設の部分についてが伸びてきている状況があったりですとか、もともと着目をいただいていた待機児童のほうは、単純に数が減っていった状況もありましたので、そういった部分からウエートがだんだん変わっていったのかなという思いは、正直持っているところではあります。なかなか施設のところ、皆さんも、この全体の項目の中での優先順位づけになっていますので、なかなかそれが1年たったことによって、こちらのほうがウエートが、気持ちの中でも人が大きくなったというところの読み解きまでは、なかなか記述をもってしても、ちょっと難しいなというふうには感じているところではありますので、なかなか明快な答えにはなっていないと思うんですが、やはり、それぞれの項目を比べて比較した中でも動きは若干はあるという認識は持っております。

○大澤委員長　よろしいですか。

○角田委員　ありがとうございます。ごめんなさい、私が施設のところで伺ったのは、実際、先ほどおっしゃった最終版のほうを見ると、実は自由回答にいろいろ書いてあって、その施設面で何で挙がってきたのかというのは、私も気になっていたんで、いろいろ見たんですけど。要は、昨年度というのは、さくら保育園のほうのブロック塀の問題などで、プールに入れなかった時期などが非常にあったというのと。今回、エアコン故障が起こったけど、なかなか対応してもらえずに、保護者の不安が大きくなっていったという経緯があったということが、自由回答に如実にあらわれていたので。

単に、みんな古いから不満を持っていますということじゃなくて。そうじゃなくて、何か原因があるのであれば、そこまできちんとたどり着いていただきたいという思いもあったので、あえてご質問をさせていただきました。

○平岡委員　平岡です。

すみません、今のところについては、こちらとしても十分認識はしていたんですが。それも、もとをただせば、やはり老朽化という部分が大いにありますので、ブロック塀については別件もごございますけれども、なかなか昨年の特徴だけをもって、施設の部分についてこちらとしてご説明をしていいかどうかということは、悩ましいところがありました。

また、苦情につきましては、この場でご説明したことが、もしかしたらあったかもしれないんですが。やはり老朽化だけではなくて、暑さが昨年余りにも異常だったために、機械のパワーとしての限界を超えていたという状況もあったというふうに聞いておりま

す。ですので、機械だけではなくて、例えばカーテンですとか、さまざま工夫を園のほうでも協力をいただいて、対応いただいたということも含めてあったかなというふうには思っておりますので、去年の部分で突出したというのは、具体的なことがあったというのでも記述もありましたし、私どもとしても理解はしていたところではありますけれども、長期的に見た部分での課題としてもありましたので、そういう両方の側面から認識しているということは申し上げておきます。

○大澤委員長　　お願いします。

○本間委員長　　今、角田さんのご指摘は、今ピンポイントで施設の話があったんですけど、多分それだけでは、最初、私が三浦さんのほうにお伺いしたことで、要は、今、表面的に集計していただきましたけど、それぞれの項目について深掘りできますかというご質問をしたところ、ちょっとそのアンケートだけ見ると難しいですというご回答だったと思うんですけども。今、角田さんのご指摘は、いや、そうじゃなくて、自由記述欄までちゃんと読めば、実は各項目については深掘りできるんじゃないんですかというのが、多分ご質問の趣旨だと思っていて。そこについて、今ピンポイントでは、平岡さんのほうから施設面のところと違って読めば、確かにそういう傾向はありますねという言葉をいただいたんですけど。だけど、やっぱり自由記述欄を読めば、多分集計できるんじゃないかなと思うんですけども。

そういうところも読んでの各項目の分析って、そうするとやっぱり、する予定があるのか、もう一旦はこの形式上で一旦終わりですなのかというのは、これでいくと、どう考えていらっしゃるのでしょうか。

○三浦委員　　保育課長です。

今、角田委員がおっしゃった、資料219という3月に出ている資料ですかね。

○角田委員　　はい

○三浦委員　　その各ページの自由記述のところはまとまっています。おっしゃるとおり、施設面の改善というところだと、多分エアコンとか、そういうキーワードでひっかかってくるんだと思うんです。その部分が、このことを指しているだろうというところはわかるんですが。ちょっと全部を拝見していく中で、このおっしゃっていることは、このアンケート項目のどこの部分かというのをカテゴライズしていく作業になるんです、きっと分析ということになると。ちょっとそれはマンパワーでやるとなかなか難しいんですけども、じゃあ可能な限りやってみますか。なかなか文言の部分項目に当てはめ

ていくので、仮に私がやるとすると回答者の意図と違っちゃうところにカテゴライズすることがあるので、ちょっとそこはなかなか主観的な意見が入らなくてやるのは難しいかなと、個人的には思いますが。

○平岡委員 先ほどもちょっと申し上げたんですけど、少し検討はさせていただければと思っているんですが、アンケートについては、毎回、弱音を吐かせていただいているんですけども、保護者の皆さん、大変熱心を書いていただいているので、こんなに記述が多いというか、記述を返していただくことが多いアンケートを、私も余り見たことがないものですから、その記述の中から大事な言葉をひろって行って、まとめていく作業が、なかなかどこまでできるかというのは、正直悩ましいところではあるので、少しできる範囲で、含めて考えさせていただきたいとは思っています。

○大澤委員長 今、あまり満足していないとか、不満であるという部分であったりとか、要望したい事項というところで自由記述等を拝見させていただいて、ちょっとどの程度までできるかというところを、今検討というような話をさせていただいておりますので、ちょっとこの部分につきましては、また意見というふうな形で承りまして、内部で検討させていただいて、次回、さらに出せるような形であれば、またお出しをさせていただくという形で、きょうの今の角田さんと本間さんからいただいている各項目のさらなる部分の追求というところについては、きょうは検討という形にさせていただきたいと思っております。

○本間委員長 そうしたら、大変申しわけないんですけども、もう一つだけご要望をさせていただきたいのが、せっかくアンケートをとってきて、傾向をじゃあしっかり見ましようということであれば、もちろん市だけではなくて、保護者を含めて一緒にやりましようというところも、ご協力はできると思いますというところなんです。

それをやるのであれば、例えば足元、直近で、本当にこういうこと困っていますというのは、じゃあ来年なりとか、また再来年なりでやりますかとかという話になっていくと思うんですけど。あくまでも要望の中には、もうちょっと中長期的なものも入ってきているものもあると思っています。それは例えば、今これとは全く並行して進められている保育計画のところとかも、実は絡む、いろんな問題も出てくるかもしれないので。そういうところも含めて、じゃあアンケートを分析したら、こういうふうに生かしていきましょうというところも、ぜひ一緒にまとめて考えていただけるとありがたいと思うので、こちらはちょっと要望させていただきます。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。



宗片さん。

○宗片委員 宗片です。

この市に要望したいことというところで、保育士の欠員であったり、待機児童だったり、施設面とあって、ハード的なものなので、すぐにどうこうというのは、なかなか難しいこと。今、実際に一生懸命、人を雇おうとしているというところでは対策はしているとは思って、そこは短期になるとかという話じゃないと思うんですけど。

また別のところで、例えば病児保育とか、そういうソフト的なサービス面で、実際に何か対応できることとか、対応しようとしたところってあるんでしたら、ご説明をいただけますでしょうか。

○大澤委員長 今、要望したい事項での現状というんでしょうか、項目があるところの進捗というか、そういった点で話せる範囲内で各項目の現状をお願いします。

○平岡委員 平岡です。

私のほうから、まず、この間、上位で要望をいただいている病児保育につきましては、今年度中に1カ所、開設できるような形で、今調整を続けている案件がございます。まだ具体的な部分については、公式にお知らせをしておりませんので、本日はその程度とさせていただきます。進めていく上で、やはりアナウンスはここだけではなくて、皆さんにしていくようなことにもなるかなというふうに思っておりますので。なかなか通常の保育とは、状況が条件などやスタッフなどの難しさもございまして、なかなか実現するところまで難しかったんですが、ようやく今年度中というところまでこぎつけているのが、現状、病児保育というような形になります。

それ以外の部分につきましては、やはり項目の中でハード面に関する部分がかなり大きいかなというふうに思っております。災害対策ですとか、しばらく下におりましたHの駐車場ですとか、園のセキュリティ、周辺道路など、やはりハード面にいたるところがかなり多いというように思いもございまして。そういった部分については、以前からも申し上げているとおり、予算の中で優先順位つけながら、できるところからさせていただいているというようにお答えになっていくかなというふうには思っております。

三浦委員、何かあれば。

○三浦委員 おっしゃるとおり、できるところというところなんです。例えば、市に要望したいことのJのところ、周辺道路の安全確保でございます。マスコミ等で話題になっているとおり、滋賀県の大津市なんかで大きな事故があつて、ちょっと子どもが亡くなっ

たという悲しい出来事がありました。そんなところも含めまして、けやき保育園さんのほうから看板をつけてくれと、通りのところで「保育園あり」というところの看板がちょっと遠くに立っているの、もう少し視認効果を高くしてくれという要望をいただいでございまして。今、庁内のほうで検討はさせていただいて、ざっくり申し上げれば、看板を立てることしかできないんですけれども、そういうところをできる限り取り組んでいるのが実情というところでございます。

加えて、あのときはお散歩だったんですが、そこら辺につきましても、園長の皆さんの集まりのときには注意喚起をさせていただくとか、できることは対応をさせていただいているんですが、なかなかすみません、皆さんの目に見える形にならないところが申しわけないところなんです。私のほうからは、頑張っているところはお伝えしておこうかなと思って、発言しておきます。よろしくお願いします。

○大澤委員長　　今、要望をしている事項の中で、ちょっと各項目ではございませんけども、ここで進捗という点で、今、各両名から説明をさせていただいたところです。

○宗片委員　　宗片です。

毎回アンケートをとって、何か対策をされているかどうかはわからなかったもので、今みたいに説明いただけると、我々も、ちゃんと市の方は考えて、対策しているんだなというのが、私に伝われば、また園の一般の保護者の方にも伝えていく形で、ちゃんと市はそういうふうにはちゃんと我々のアンケートを受けて対策していただいていますよというのが伝えられると思いますので、何か進捗あったら、そういうふうにお話ししていただけるとありがたいなと。

○三浦委員　　事の大小を問わず、ご報告できるところは報告したいと思います。

○宗方委員　　よろしくお願いします。

○大澤委員長　　ほかにごございますでしょうか。

○角田委員　　けやきの角田です。

先ほどお話をした、細かい分析のお話に関連して。今、各論でこの部分どうなっていますかという形でご質問をすれば、例えば市に要望する話については、ハード面に対する要望が多くて。その中の予算の範囲内で優先順位が高いものからやりますよみたいなご回答をいただけるということは、やっぱりそれなりに市の中で結果を読み取られて、何らか考えはお持ちだと思えます。

要は、それを一緒に出してほしいというお願いであって、それが多分、まず一緒に傾

向としてこういう順位変動はありましたというだけじゃなくて、それに対して市がどう捉えて、どういう行動をしようと思っているのか。逆に、こういうふうに考えているから、これはちょっともう少し様子を見ますでもあるとは思いますが、そういったものもまとめて見せていただくと、やはり議論が深まるんじゃないかと思うので。その点、要望をさせていただきたいなと思います。

○三浦委員 保育課長の三浦です。

おっしゃること、よくわかります。成果をとるところだと思うんです。ただ、やっぱり市のほうですと、どうしても予算というところが出てきます。予算がないことは、当然、難しいところもありますし、どこの段階で皆様にお伝えできるかって、かなり難しいところではあります。

ただ、今思うところに考えますと、当初予算で措置をできたところとか、あるいは今回、看板をつけるというお話をしましたけれども、それをちょっと予算の範囲ではなくて、今あるものをつけかえるとか、そんなところの話なので、できる範囲で対応したいと思うんですけれども、できないかもしれないのに、できるということもできないものですから、ちょっとなかなか要望の出し方は厳しいところはありますけれども。おっしゃることはよくわかりましたので、対応できる部分は対応したいと思います。

○平岡委員 平岡です。

アンケートの今までの多分、使い方というか、流れの話から始まっているのかなと思ってまして。最初は、五園連さんでとってらっしゃったアンケートを、こういう場ができたことによって、運協という形で一緒にとりましょうというところから始まって、まずは集計結果を出して、皆さんにフィードバックするというのがしばらく続いていたという状況かなと思ってます。

それに対して、ここ数年の中で、それに対しての分析をしていないのかというご指摘をいただいて。分析の規模はございますけれども、若干読み取れるところについてのコメントを付しながらお返しをし始めたのが、ごく数年かなというふうに思っております。

今、角田委員がお話をされたのは、その先の、その結果、市のほうでどう動いたのか、もしくはどう動こうとしているのかというふうなところまでセットで説明をしていくと議論が深まるのではないかというお話だったのかなというふうに思っているんですが。市のほうも、そのアクションについて明確にお話ができるアクションと、まだお話しできないアクションの部分がありまして、ここで結論づけるつもりではないんですけど

も、やはり予算を伴うものについてのアクションが、なかなかこういった場で頑張った感というか、頑張ったところというのをご説明しにくい部分が多々、多いという状況もありますけれども、いただいたご趣旨は、こちらとしても、先ほど三浦委員も申し上げたとおり、理解しているつもりでありますので。最初から100点というのではないと思うんですけども、どういう出し方かも含めて、少しずつちょっと考えさせていただいて、一歩でも、このアンケートの活用について前進できればいいなというふうには思っていますので、よろしく願いいたします。

○角田委員      ありがとうございます。

○大澤委員長    大島委員。

○大島委員      わかたけの大島です。

やれるだけ頑張りますと言われてしまうと、もうお願いしますとしか言えないんですけど。例えば、私たちの父母の立場から、このアンケートを酌み取って、これだけはお願ひしたいですというものを出した場合、そこだけ回答をいただくということはどうでしょうか。

○平岡委員      平岡です。

結論から申し上げますと、可能であるというふうに思っております。ただ一方で、五園連さんの対市懇談会で、同じようにお話をさせていただいているという場面もあるかなというふうに思いますので。どのような形で運協という場で使っていただくかというところは、保護者の皆様の中でもご相談をいただければというふうに思うんですけども。そういった中で、例えば一つ、二つ、もしくは幾つかの部分について特にどうかというような事前にお話をいただいた中でお答えをするということ自体は可能であるということは、お答えさせていただきます。

○大島委員      わかりました。こちらとしても、もしかしたら質問として、または要望としてまとめさせていただくことがあるかもしれないので、そのときはよろしく願ひします。

○大澤委員長    平成28年か何かの、五園連さんからのご要望という形で、項目が何々について、その進捗を教えてもらいたいというような形でやりとりを、過去させていただいた経過はあったかなというふうに思っています。

また、挙がってくる項目、先ほど申したように、大体、似た項目が大体上位というところの中で、それを我々がどういうふうな形で状況が進捗しているというところが、特段議題にないようなときには、ちょっと報告もしていないというところに関して、どの

ような形で皆様方にお伝えをしていくかというところは、非常にきょう、意見をいただいたところで、課題かなというふうな思いで、委員長としては承りたいというふうに思っています。

大越委員。

○大越委員 けやきの大越です。

これを見て、各園の園長先生の現場の肌感覚というのを、感想を、ちょっとあれば教えていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。率直に教えていただきたいんですけど。

○大澤委員長 どうですか。三浦課長のほう。

○三浦委員 なかなか率直にというのは難しいとは思いますが、どうですかね。何か発言ございますか。

○小方委員 小金井の小方です。

施設面の改善は、本当に見た目、けやきはきれいなんですけど、ほかの4園はもう本当に老朽化が進んでいるのですが。ここ数年、保育課の職員も現場に足運んで見に来ていますし、小さいところが徐々に改善されたり、修理が進んだりしているところが、肌感覚としては進んできているなというのは思っています。

保護者の皆さんも、小金井でもやっているんですけど、一緒に安全点検に参加して下さったり、私たちがもう見えなくなってしまうようなところも教えてくださったりして、それも市のほうに要望として上げています。本当にちょっとずつなんですけれども、改善しているところもあるなど、肌ではちょっと思っています。

○三浦委員 ということで肌感覚なので。

○大越委員 各園の園長先生にもぜひお願いしたいんですけど。

○前島委員 くりのみ保育園の前島です。

アンケートを毎年見させていただいて、一番、やっぱり保育士の人員が足りていないというのは26年からずっと続いているので、保育園としても、全部埋まったというところが、見ていただいてもわかるようにないので、そこが一番、肌感覚というか、切実な課題で。常に探しているけれども、いない状況で、一番何とかしないといけないというのがあります。

週5、毎日同じ人がというのが、保育園では一番、昔は当たり前だったところが、今、全国的に保育士がいないというところで、1週間で何人かの人来っていただいたり、時

間も5時までいない職員もいたり。あと、雇用の関係でも、いろいろ働く場のほうもあるので、そこが全然欠員がありませんというのが、いつか来てほしいなというのが切実です。

保護者の方も、そこがありますよね。必ずいてくれれば、安心していただけるなと思うので。

○大澤委員長 杉山委員。

○杉山委員 わかたけの杉山です。

私も保育士の問題がずっと続いていて、また後で保育園の職員状況での説明があると思うんですけども、一体いつからこの状態で、いつまで続くのかなというところでは、本当に何かいい打開策があるといいなと思っていますし、日々考えているところです。

保育課の職員も、職員課の職員も、決して、していないわけではないということは、現場でもわかっているんですけども。それが直接保護者の方の不安にもつながるし、子どもたちの対応も変わってくるので、せつないところです。というのを、肌では感じています。

それから、あとは施設面で、さっき小方さんのほうが言いましたけど、小さいところを、本当にできるところからというところで手をつけてくれているというところは、すごく感じています。ただ、やはり私が言うことではないかもしれないんですけど、壊れてから直すのではなくて、やっぱりメンテナンスのところから細かく変えるようになるといいなというふうには思っています。メンテナンスする中で、大きく壊れる前にどうにかなるというところを、改善されるといいなって要望しています。

○大澤委員長 柴田さん。

○柴田委員 さくらの柴田です。

今、3園の園長が話したのは、さくらでも感じる事なんですけども、本当にちっちゃいこととして、このアンケートを見て、例えば保育士の父母への対応というところで、私たちから見ると、結構やっぱり不満かなというふうに読み取れちゃったりすると、気をつけているつもり、一生懸命やっているつもりだけど、やっぱりやり方が下手だったり、うまくできなかつたりしているところがあるねという、このアンケートの結果で、次の年の、例えば園の中でいろんな役割分担って、こういうところのプロジェクトをつくろう、例えば保護者の対応の仕方の学びをしていこうねというような形で、園として職員同士学び合う機会に、すごく活用させていただいているかなというふうには思っ

います。

先ほどから出ているように、何か必要なものがないこともあるけれど、保育課のほうに上げていくと、一緒にこちらに来て様子を見に来てくれたり、何か方法がないかと探ってくれたりすることも本当にふえてきていて。アンケート結果を見ると、なかなか実際に感じ取ってもらえないということは、やはりできていないと同じなんですけれども、すごくちっちゃなことですけど、そういうところでこれを参考に改善をしているというか、いく努力ができるというふうには思っています。

以上です。

○大澤委員長 ほかにも、宗片さん。

○宗片委員 宗片です。

ちょっと以前の資料で、資料208のインデックス資料で、3園民営化の必要性についてということで、多様なニーズへの対応と民営化の比較というところで、3園民営化してみると、ニーズとして休日保育の実施、延長保育のさらなる延長、一時預かり保育の拡大というのができますよというような資料が出ていたと思うんですけど、今回の市に要望したいことというのを見てみると、休日保育の実施であったり、延長保育のさらなる延長って、そこまでニーズとして高くないんじゃないのかなと思ったんです。

そうすると、これでそもそもニーズが高くないのに、3園目を民営化してまで、そのニーズに応える必要があるんですかというのが一つ。

あともう一つは、ここにある要望というのは、あくまで今ある公立園の中で要望していることであって、民営化してまで、この延長保育であったり、休日保育をしたいかという、それはまた違うんじゃないのかなというふうに思っていて。仮にまたアンケートをとったとしたら、その要望って民営化してまでしたいですかというような項目を入れたほうがいいんじゃないかと、個人的には思うんです。それでも、もう本当に必要だというのであれば、それは確かに民営化して、そこはサービスを強化したほうがいいという方が少なからずいらっしゃるというふうに受け取れると思うんですけど。今この状態では、それは言えないんじゃないかというのと、ここにある、資料にある、多様なニーズへの対応って、する必要はないですよというふうに私は思うので。そのところをお考えをお聞かせください。

○平岡委員 平岡です。

今お話しいただいていましたのは、昨年11月10日の運営協議会の208-2と

いう資料かなというふうに思っております。こちらの多様なニーズという考え方なんですけれども、この多様なニーズにつきましては、公立保育園ユーザーの方を限定したのではなく、保育、小金井市を問わず保育全体としての課題として上げられてきたものを挙げております。ですので、公立保育園が休日保育を実施しなければいけないかどうかですとか、そういうことではなく、現実的に今、休日保育を行っている園というのがないというのが、まず小金井の実態としてあります。

それがこちらのキーワードとして出てきているのは、以前に行われました保育検討協議会という検討会の中で、多様なニーズ、それから課題とってお話があった中で、市のほうでまとめさせていただいた課題の一つというふうになっております。

また、延長保育のさらなる延長というのは、既に民間保育園では8時まで預かりを行っている園もございますけれども、そういった延長保育時間の延長という課題もあるということ。

また、一時預かり保育の拡大という部分についても出てきている中で、公立は公立として、それぞれの園の中で民間保育園への対応もございますけれども、こういったニーズの対応を公立保育園でも行っていくためには、やはり3園目をやらないと、人員体制ですとか、さまざまな部分で対応が難しいということで、3園目の部分については、詳細は今後検討と書かせていただいているとおり、こちらについては今後の検討の内容となりますけれども、市のほうでこの民営化のお話を具体的に進めていくに当たって、小金井市全体の保育の課題として挙がっていた障害児保育の拡大から始まりまして、全部で八つほどあるんですけれども、こういった課題を解決していくための考え方の中でさせていただいたものでありますので、決して、今、公立保育園に通ってらっしゃる方を限定した部分での多様なニーズということではなくて、小金井市内全体において多様化しているニーズへの対応としての一項目というような形の考え方になります。

ですので、公立保育園に通っていらっしゃる方だけをターゲットにしたニーズへの対応という部分で今回の民営化はございませんので、そういうような形で、資料としてはお読み取りをいただければというふうに思います。

○宗片委員 宗片です。

だとすると、民間保育園も含めて、そのニーズが本当にあるかというのを調べるべきではないかと思うんですが。その保育園運営協議会の内容を私は存じ上げないので、どういう話だったのかわからないですけど。そういうのがありましたというだけで、じゃ



あそのニーズにやりましょうという話なのか。数として本当に多いのか、要望が多いという話であればわかるんですけども、どうしても、公立保育園の中だけの話ですけれども、この公立保育園の中だけで見て、そんなに順位として高くないんだとしたら、そんなにニーズとしてないんじゃないですかという話と。

あと、例えば、延長保育とか休日保育とかはいいから、私は公立保育園に通いたいんだという保護者も当然いらっしゃいますし。そこを捨てて、じゃあニーズとしてあるんで、そっちやりますというのが、本当に反応として正しいんですかという議論があると思うので。そこの根拠を示す資料があるんだとしたら、そこはお出しいただきたい、もしくはご説明いただきたいと思います。

○平岡委員 平岡です。

こちらのニーズの部分については、今、宗片委員おっしゃるとおり、具体的に利用者の方にアンケートをとって、数字として完全に押さえたというものでは、確かにはないのは事実であります。ただ、学識の方も含めた検討の中で、やはり課題として同列に挙げてきたものの一つであって。それを小金井市全体の中で、この課題も解消していく必要があるというようなところでの挙げられている課題という認識の中で、公立保育園を減らしてまで行うべきかどうかというご意見もございましたけれども、現時点での市の考え方としましては、市全体のこういった保育の課題に対して対応していくための方策として考えてきた中では、やはり公立保育園として率先して役割として果たしていくべきものもあるという考え方も持っておりましたので、このような形の提案というか、資料としてのご説明をさせていただいたというようなことになります。

ですので、現時点では、今申し上げた以上のものはございませんけれども、今回そういう具体的なご利用をされていらっしゃる方からそういうお話があったというのは、市のほうにも心にとめさせていただいて、今後もこちらについては、引き続き検討をしていきたいというふうには思っております。

○大澤委員長 ちょっとすみません、民営化のほうに議題が行きつつあるので、ちょっとまた戻すような形で。とりあえずこのアンケートのほうに、30年度のほうにまた戻らせていただきたいというふうに思っております。

今、各委員のほうからも、さまざまご意見を承ったというふうには思っております。改めまして各項目、自由記述等も含めて分析、進捗、その辺ちょっと検討をさせていただくという形で、またこの30年度の結果については、また次回というところで、また

調整をさせていただき、実際、今年度のアンケートをどうするかというふうな形の、本日、議題というふうな形で考えておりますので、そちらのほうに、また少し行かせていただきたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。

じゃあ、とりあえず資料223については、一旦ここまでとさせていただき、本日、資料224という形で、平成30年度のアンケートの回答用紙というところを資料として出させていただいておりますけども、それについて、よろしいですか、三浦委員。

○三浦委員　それでは、資料224ということで、平成30年度、昨年度行った公立保育園の運営に関するアンケートの回答用紙を、ちょっと参考程度ご用意させていただきました。私もちょっと不慣れな点がございませけれども、この形でずっとやってこられて。先ほどお示ししたとおり、トレンドは3年間分析をしたところでございます。

もしアンケートをやっていくとなると、スケジュール的には、3月にお示しをした資料ですと、5月ぐらいにアンケートを配布をして、7月中、8月にかけてアンケートを実施して、9月に速報版、11月ぐらいに最終版の分析結果をお示するというのが、当時の資料に載ってございました。その結果を反映して、来年の1月、2月、この第3期の運営委員会のまとめをつくるときの参考に資するという段取りになっているスケジュールにはなっております。

したがって、アンケートをしていくとなりますと、ちょっと時間的にタイトというところがございます。また、行政としても3年間見てきたわけなんですけど、余り大きく項目を変えずに、この形でやらせていただければ、オンスケジュールでいけるかなという思いもございませので、皆様方にご提案を申し上げるのは、30年度とほぼ同様の形でアンケートを実施してはいかがかなというところで、行政としては考えているところがございます。

説明がご理解いただけましたでしょうか。すみません、たどたどしくて申しわけありません。

○大澤委員長　資料224ということで、行政的には、今年度も同様のアンケートでいかがかというところで、本日、ご提案をさせていただくという内容になります。前回の資料219-2で、アンケートに関するスケジュール（案）というところでお話をさせていただいたところです。なかなかアンケートが7月ぐらいに実施していたころから、大体、秋口になってきたりとかというところ、それと先ほど、従来から議論をさせていただいたように、結果を踏まえてテーマを決めた協議とか、そういったところもさまざまちょっといただ

いておる現状があります。

30年度の結果も、先ほど皆様方から意見を踏まえた状況の中で、今年度どうしようかというところで、事務方としては、30年度と同様の内容でお出しをさせていただき、アンケートについては7月の中旬ぐらいから配布できないかというところで、本日、行政としては考えておるところでございます。

それらを踏まえまして、保護者委員のほうからのご意見を承りたいというふうに思います。

佐藤さん。

○佐藤委員

わかたけの佐藤です。

今までと同じような内容でアンケートをとられてきたということなんですが、大体近年の傾向というのが見えてきたのかなというふうに把握されているとおっしゃっていたので、だとするならば、本当に個人的意見なんですけど、すごく満足している部分の具体的なところを掘り下げてみるとか、満足していないところは、上位に上がったのが保育内容、人数、施設、保育日時とかありますけれども、具体的なところで、内容のどういところが満足していないのかとか、あと、人がかかわって何が満足していない部分と、形が変われば満足に変わる、施設・設備の部分とか。例えば施設でどれだけ満足していないという数が出ているところの、例えば具体的に何が不満であるとか、何かちょっとポイントを絞っていてもいいのかなというふうには思うんです。

それはなぜかというところが、近年ずっと同じような傾向であるというところが読み取れたのであれば、そこを何かもう少し具体的なものにすれば、どこがすごく気に入っているから公立園がいいと思っている、どこがやっぱり不満だと思っているから嫌だと思っているというのが、具体的に見えるのかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○大澤委員長 いろいろ皆様方からご意見を承って、まとめていきたいなというふうに思っています。

今、ポイントをもうちょっと絞った形で具体的に聞くのはいかがかというようなご意見かというふうに思っています。

ほかに皆様方、どのようなご意見をお持ちか、ご発言方お願いします。

小林さん。

○小林委員

すみません、すごく何かやる側として、ちょっとだけ感じたんですけど、これ1で満足をしていますかというふうに聞かれて、全体的に保育の内容にはすごく自分は満足し

ているんだけど、でもちょっと気になることがあってというのは何か答えづらいんですけど。これ1で満足していると書きちゃったら、満足している理由について、(1-b)でしか答えられないんじゃないですか。

だから、ここが満足しているのでこの理由で、ここが満足していない点がこの理由でと書けるといいなとちょっと思いました。わかりますか、言っている意味。ちょっと答えづらいなど。

○大澤委員長 今、最初のところの切り出しからの書き方というんでしょうか、書き方が、ちょっと変更したらわかりやすいのではないかという趣旨でよろしいですね。

○小林委員 はい。いいんじゃないかなと思って。

○大澤委員長 ほかにございますか。

ちょっとその二つを踏まえて、何か事務方として。

○三浦委員 事務方とすると、まず来年の1月、2月には、この委員さんの皆様のまとめをつくるというところは間違いないですよ、一応。

○大澤委員長 覚書の中で可能な限りというところにはなっています。

○三浦委員 ですので、まとめをつくられるのであれば、そこをちょっと意識してというところがするのかなと思います。

佐藤委員がおっしゃっているのと、小林委員がおっしゃっているのと、ほぼニアリーな感じなんでしょうか。ちょっと違うんですか。

○平岡委員 平岡です。

すみません、ちょっとこの間、アンケートのことについては私のほうでお答えしていることが多いので、私のほうで少しお答えをさせていただきたいと思います。

佐藤委員からご提案いただいた部分についてですと、例えば、ここ3年ぐらいのそれぞれのトレンドの項目を一番最初に持ってきて、それに対して、もう少し具体的な理由が選択肢として設けられて、分析というか集計しやすいようなイメージというようなふうに受け取っております。

小林委員からお話いただいたのは、満足しているものと、あまり満足していないものと、(1-b)にある項目、それぞれ同じ方がどちらも書けて、それぞれの中身を書けるほうが意見が出しやすいというようなお話もいただいたかなというふうに思っております。

もともと、実は、このアンケートにつきましては、1番と2番、全体評価と2の保育

ニーズについてというところはスタート時点からずっと同じ項目で、実は五園連さんがもともとつくられた項目ではないかと思っているんですけども、とってきたという経緯があるというように聞いております。

それプラス年度で、その年度年度でアンケートを変えようということで相談しながらやってきたんですが、回数を重ねるごとに集約がなかなか難しい状況になり、年度によって変わるアンケートの部分が、3だけだったのが4にふえて、協議をするのもなかなか状況として時間を要していたこともあって、このままの状況で3年ほどとらせていただいているというのが、実は経緯になります。

ですので、今いただいたご意見の部分について、なかなかこちらのほうで、それをしんしゃくした上でやっていくということになると、今いただいたことをもとに、次回までにご相談もさせていただきながら別の素案みたいなものをお出しして、確認をしてというような形の流れになっていかなというふうに思っておりますので。スケジュール的にそういう形にさせていただくと、最短で最終集計がまとまるのが、1月ぐらいになるかなというふうに思っておりますので、ちょっとその作業量とそこ部分もあるものですので、そちらと申しわけないんですけども、両方考慮していただきながら、引き続きちょっとご意見をいただければというふうに思います。

○大澤委員長 大越委員。

○大越委員 けやき、大越です。

意見提案シートにも上から2番目にもあるんですけど、アンケート結果をまとめるのに時間がかかるというのが、今の現状かなと思っております。私たち父母会のところでも、アンケートをとるときってメールでとったりしているんです。そのほうが効率もいいですし、時間もかからないし、多分そちらも相当お忙しいと思いますので、作業の手間も省けるかなと思うんですけども。何かそういう形にして、すみません、ちょっと内容のところじゃないんですけど、父母としても協力できる場所があるのであれば、ぜひ協力させていただきたいと思うので。1月に最終のアンケート結果が来ても、そこからもう2回しか残っていないので、ちょっとなかなかハードなのかなという点で、そういうやり方ってとれたりしますでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

アンケートの回答をネットで、もしくはメールでというお話は、よく伺うところではあるんですけど。なかなか実は、市のほうで、今まであまり、具体的に言うと経験した

ことがないような状況であります。あと、電子媒体として、こちらのアンケート、大変ありがたいことに回収率が高いものですので、これだけの短期間に、例えば電子媒体で何百枚も市のほうで回答用紙を電子媒体で受け取ることが、そもそも可能かどうかというところもあるかなと思っております。お一人お一人が、例えば電子媒体で書いたものを、メールで市のほうへ何百通もいただくというような形の対応をしたことが多分ないと思うので、それがちょっと現実的に可能かどうかというところが悩ましいところがあります。

あとは、どこかのサイトでというような形になると、行政が絡むとさまざまな諸手続ですとか、そういうような部分が出てきてしまうので、そういうこともあって、ちょっとインターネットを介したやり方というのは、ちゅうちょしているというところが、今伺った中で即答できる範囲内かなというふうに思っておりますので。

今メールでとおっしゃったんですけども、例えば具体的に想定されているような、こういうやり方でみたいなものがもしあれば、もう少しお話がいただけると、少しありがたいなと思います。

こちら、実は電子媒体でいただけるほうが、ありがたいのは理解はしているんですけど、そうすると、多分、皆様のアドレスから、一つのアドレスのところは何百通のものをいただくことになってしまうので、ちょっとそれが市のもとも全体のメールの管理ですとか、そういうところで耐えられるかですとか、そういう確認なども必要になってくるかなとは思っております。

○大澤委員長 鈴木委員。

○鈴木委員 くりのみの鈴木です。

多分、先ほど大越さんがおっしゃったのは、アンケートの中身さえ固まれば、例えば一つのフォームを使って、各園にそれを、これをいついつまでに回答してくださいという依頼をいただければ、各園のほうでそれは保護者に投げて、そういう調整、協力は多分できますよということだと思うので、その一斉配信を全部やってくださいとか、そういうことではないと思います。

あと、今、集計をするのも、別に簡単にウェブで、回答の選択項目があれば、きちんとその集計までやってくれるとかというのは幾らでもあるので、その辺の議論は、もっとこの中身を固めた段階で、そういうのも全然できると思いますし。ウェブ化するんであれば、今は手続が面倒くさいというのであれば、来年度やるためにという議論も、来

年度からスタートするのは、別に今議論すれば、手続すればできるわけなので、そういうことを工夫されたほうがいいんじゃないかというふうに、ちょっと思いました。

○平岡委員 平岡です。

そうですね。ウェブ化のことについては、今お話しいただいたとおり、市のほうでも、私が知り得る限りちょっとやった例は記憶にないので、どういう部分をクリアする必要があるですか、そのあたりをこちらのほうでも確認してみたいなというふうには思っております。

当座どこまでできるのかという、ちょっと個別具体的な作業の話もあるかと思うので、それを今、ここでどこまでお話をするのがいいのかというのもこちらのほうではわからないんですが、今までの私どもの、この紙媒体でやりとりをさせている作業のスパンを考えると、今申し上げたようなスケジュール感になるかなというふうに思っております。

あと、加えてアンケートの実施時期なんですけれども、仮に例えば、今ここで決まったとしても、余り早く始めてしまうと、ことし入園された保護者の方にとっては、なかなか書きづらいついかなという思いもありまして、例年、過去5年間行った中で最短の7月下旬から8月初旬ぐらいが、実施時期としては最短かなというふうには、行政側としては思っておりますので、申し添えておきます。

○大澤委員長 ウェブというところに関しては、すみません、私もそんなに詳しくはないので、大変恐縮ですけども。さまざまなアンケートというのは、今、紙媒体というのが行政的なところが多いのが現状です。そちらのほう、一回、このアンケートに関しての課題というところでも前からお話があつて、なかなか行政としてもすぐできるという状況の環境ではないというところは、お話をさせていただいたことが経過としてはあるかなというふうに思っております。そこはそこで、引き続き内部のほうで、ちょっと確認はさせていただきたいというふうに思っておりますし、当然、日程等が決まった場合、保護者委員のほうにご協力を仰ぐということはあるかなというところで、アンケートの仕方については、また引き続きご協議をさせていただきたいと思います。

○本間委員長 本間です。

やり方というのは、ものすごく実をとるという点でいったら、例えば一旦ことし、恐らく以前、2年ぐらい前までウェブでアンケートをとれませんかみたいな議論、確かにあつて。そのとき我々もご調整をいただいたけど、やっぱり最終的には難しいよねと。それは難しいよねというのは、市の中での調整とか、ルール等の抵触とか、個人情報と

の絡みとか。あとはウェブだと、本当に1人二つ出していないかとか、そういうのも含めて管理するのが難しいとか、いろいろな論点があって、結果ここに落ちついているという経緯もあるんですけども。

例えば、一つには、これはもともと五園連としてやっていたアンケートでもあるので、一旦保護者のほうでアンケートはとらせていただいて、その結果を例えばご提供させていただいて、ここの運協の中で結果だけを議論していく。であれば、そういうことは多分できなくはないですよ。こちら側としてとったアンケートの結果を、この中に提出させていただくみたいな形式をとれば、やっぱり実をとるという点では、そういうこともあるのかなとは思っているので、やり方はいろいろあるのかなと思います。

○大澤委員長　　ちょっと今、このアンケートのとり方というところにご発言をいただいたかなと思っています。まず実態として、このアンケートというところに関して、今ご意見、まず通常の今までどおりのパターンというところと、それに関して小林委員と佐藤委員のほうからご意見をいただき、お二人の意見に関しましては、ちょっと加工してみないというところがあるかと思っています。

そういったものを、またちょっと事務的に作業をさせていただいて、7月、またご意見を承るという形でいくかどうかというところも含めて、もう少しこちらのほう、方向性をまとめたいと思っておりますけども。

○三浦委員　　保育課長です。

では、アンケートを実施していこうというのは、皆さん一致ということによろしいですか。ことしもやろうということは、じゃあそこはまず1点、オーケーですよ。

ご提案いただいたところで、アンケートの内容について少しマイナーチェンジをしようというふうにお考えというところも一致ですか。そうすると、このマイナーチェンジは、ちょっと行政のほうではなかなかできないので、皆さんにお力をいただく形になるんですけども、一致でよろしいですか。このままではちょっとなというふうにお考えということであれば、そのご意見を尊重しますし、思うんですが。

いかがでしょうか、二択です。去年と同じ形より、もう少しマイナーチェンジをしようかというところですかね。

○鈴木委員　　それの今のご質問のされ方だと、アンケートをすることが目的に捉えられるんですね。そうではなくて、アンケートをとった結果どうしていくか、ニーズがこうあります、これに対してどう解決していきますのその繰り返しがあって、次に、じゃあ保護者ニーズ



を捉えるために、こういうアンケートをつくりましょうといったサイクルを回す必要があつて。変えるためには、変えるとできません、変えなければできずとかがって議論ではないかなと思つていて。

○三浦委員　　そういうふうにつけていたら、ごめんなさい。アンケートをとるということではなく、きょうは5月というところで、もし実施するとなると、次のスケジュールがおしていきますよというところは申し上げたとおりなんです。

ですから、私どものほうでは、ご協力できる部分はしていくんですけども、まずは入り口というか、一つずつ積み上げていかないと話が進まないかなと思つて、それを申し上げたんですが。鈴木委員のおっしゃるとおり、アンケートをとることが目的ではないので。結構です。

○本間委員長　　今いただいた点なんですけど、まずアンケートをとるかというところと、マイナーチェンジするか、もっとメジャーチェンジで、もう、がらっと変えるのかというところも含めてなんです。すみません、ちょっと若干私見ではあるんですが、この話って、もともとアンケートをとるというんじゃなくて、そもそも運営協議会としてⅢ期の中で、こういうことを議論をしたいよね、こういうことを報告書にまとめたいよねというのがまずあつて。それから、じゃあアンケートが必要なのか、ツールとしてやっぱり必要なのかという議論があつて、じゃあ、やるんだったら、運営協議会のゴールに向けて、じゃあこういう項目にしていきたいよねって、どんどんブレイクダウンしていくものだと思いますが、今、現段階としては、今、民営化についてというところが、一つ大きな具体ではあるんですが、運営協議会の第3期として、具体的にどういうことを協議していこうか、どういうスケジュールで協議していこうかというのが決まっていなくて思つているので。だとすると、現段階でこのアンケートをがらっと変えるとか、やる、やらないという議論をできる土壌にないのかなと思つています。

なので、今現状としては、少なくとも去年はそうだったんですけど、去年としては、その中で一方で全くやらないという選択肢は、またとりづらい状況ではあつたので、例年の傾向を見るために、やむなく前年踏襲の形で継続してとりましたというのが、去年の形で。ことしの今の段階でとなると、実は状況って余り変わってなくて。大きくがらっと変えるというところを決める材料も、実はないのかなというのは、これはちょっと若干私見です。

なので、今ご質問をいただいた点だと、アンケートをとる、とらないでいけば、恐ら

くとるんだらうなというところ。変えるとしても、大幅に質問事項を変えるというところでもないのかなと思っていて。少しちょっとわかりにくい点であったり、保護者として答えにくいようなところがあるというのが、今、最初に上がった委員のご指摘だと思うので、そこはちょっとマイナーチェンジしてもいいのかなというのが、私個人の意見です。

なので、今ちょっとこの意見というところで、そうではないんじゃないというところがあれば、ぜひご意見いただきたいと思うんですけども。その辺って、委員の皆さんから何かいかがでしょうか。

○大澤委員長 今の本間委員長の意見を踏まえてというところで。

佐藤委員。

○佐藤委員 わかたけの佐藤です。

このアンケートをとるとらない云々の前に、このアンケートを、もともとは五園連の保護者のほうからとろうというスタートだった、そこに一緒にするなら市も一緒にという。でも最終的には、今現在、私たちがとっているこのアンケートの一番の目的は、現状を知ろうということなのか、知った上で何かを改善していこうということなのか。それとも、その現状がわかってから、何かを掘り下げていこうということなのか、やっぱりちょっと目的が明確ではないアンケートが、ここ近年とられているのかな。そのスタートの経緯からの細かいことはちょっとわからないですけども。

そのアンケートをとる一番の目的、何をしたいからこれをするというところを一番明確にした上で、今年度はそれが厳しいのであれば、逆にもう次年度のアンケートに向けて、こういうことを考えていきたいから、このアンケートをとろうねという話が、いつも期日がぎりぎりになって、渋々出して、とるから集計してという形なのか、その部分を考えていけたらいいのかなと思います。意見です。

○大澤委員長 この運営協議会という場にかかわる内容なのかなと思っています。もともとこちらのほうの運営協議会の中では、公立保育園における保育サービスの現状の確認であったりとか、評価に関する事項について、また、保護者が求める保育事業に関する事項等についてここで議論をしていこうというところで、今回、今協議会が立ち上がっているという形の観点から、このアンケートもとられているのかな。最初のちょっと出だしのところもすみません、経過というところも、私もちょっと存じ上げてないところはあるんですけども、そういったところも踏まえて、今日まであるのかなというところがあるかな

と思っています。

ほかにございますか。

角田委員。

○角田委員 けやきの角田です。

アンケートの実施に関しては、五園連発であり、現状、公立保育園の満足度であるとか、保護者のニーズを把握する上で継続して行ってきたものであり、それは継続して把握しておくべきことであると思うので、原則的には行うべきだと思っています。

そのマイナーチェンジに関しては、きょう出たお二方のご意見を反映できるのって、多分（1-c）のところの文言調整であるとか、その辺で吸収できるのかなと個人的には思うので。やり方として、三浦委員がおっしゃっているように、市ではできなくて保護者側から提案してほしいというのであれば、そのあたり文言を出すことはできると思うので、そういった形で落ちつけてやるのがよいのではないかと思います。

○大澤委員長 今、保護者委員のほうでも、この書き方というところを中でもんでもいいというようにご趣旨というふうに捉えたという状況です。

じゃあ、すみません、きょうの時点では、とりあえず今年度についてもアンケートをとるという形でいきたいと思っています。それで一応、内容的には、こちらのほうのペースを基本とさせていただき、今お二人のほうからご意見があったところをどのように調整ができるかというところに関して我々のほうも検討をさせていただき、また、保護者委員のほうでも検討をしていただきという形で、両委員長のお預かりというふうな形をさせていただきたいというふうに思っています。

それで、一応次回のところまで両方で調整をさせていただいて、基本的には7月開催のところアンケート内容を議題とさせていただいて、そこで確定がとれたら、その後、実施するというところで、現時点で、きょうのところに関しては、その旨で取り扱いをさせていただきたいと思うんですけども、その旨でよろしいでしょうか。

じゃあ、双方、今日いただいた意見でお互いやりとりをさせていただいて、7月に整った段階で、30年度の結果も踏まえたところで、また次回、議題とさせていただき、そこで確定ができた段階から、今年度のアンケートを開始するというところで、本日こちらのほうは、その旨で取り扱いをさせていただきたいと思います。

○大澤委員長 すみません、傍聴者のほうにお伝えをいたします。意見シートというところがありますので、そちらのほうにお書きいただいて、対応させていただきたいと思いますので、

よろしく願いいたします。

それでは、次の議題のほうに移らせていただきたいと思います。イの民営化についてを議題といたします。

本日、保護者委員のほうから資料225を提出いただいておりますので、こちらの方のご説明の方、よろしく願いいたします。

○大島委員

では、大島から説明いたします。

まず、こちらの資料についてですけど、民営化について、なぜするのかというところにつきまして、昨年も、さらにそれ以前からも、こちらとしては質問を出しては、それにつきまして何度もご回答をいただいております。

ただ、私たちとしては、その民営化する理由に関して、満足いく回答は得られていないというふうについていつもお伝えさせていただいておりますが、それに対しても、いつもお出しできる資料は全て出してありますという答えをいただいております、平行線をずっとたどっていたという現状がございました。そこで、私たちとして、じゃあ一体何が足りていないかというところを、一旦資料として示したいというところで、こちらの資料をつくっております。

まず、この資料につきまして、課題という形で1から4まで書いてございまして、こちらは以前ご提供いただいた、市として現在の保育の中で課題と認識している事項ということで、こちらの四つを書いてあります。課題に対して、じゃあどう対応していくかというところについて、じゃあ説明いただきたいというところで、じゃあ一旦、いただいた資料につきまして、そのいただいた資料はどこの課題に属するかというところで、こちら分類分けをしてまとめております。

まず、課題1)につきまして、保育の量。こちらにつきましては、資料としては四つご提供いただいております。ただ、このいただいた四つで保育の量につきまして、じゃあ民営化をこれであるかというご回答につきましては、まだ説明されていないというところになりまして。こちらとしましては、こちらの気付き事項にありますが、単に既存保育園を民営化するのでは、小金井市全体の保育園数は変わらないため、待機児童解消には必ずしも結びつかないと。

つまり、今の公立保育園を民間で借りたとしても、単純に数がふえるわけではないので、これが待機児童解消について結びつくのではないですというお話は、以前させていただいたと思います。

同じように、課題2)として、保育の質が民営化すると解消しますにつきましても、今までいただいた資料の中では、民営化園の保育の質を維持向上する具体策について、きちんと説明いただいているところをお伝えしたいと思います。

課題3)の中で、現状の課題の保育ニーズの多様化、こちらにつきましても、なりますと、拡充するサービスの優先順位や要する経費、マンパワーなどが不明であり、民営化で職員を寄せることで十分に解決できるか不明確。こちらで保育ニーズの多様化はなぜ民営化する、今までいただいた資料で、こちらで解決するかということにつきまして具体的に説明がされているわけではないということになっております。

課題4)につきましても、財政問題につきましても、こちら一番資料が多かったですけど。こちらにつきましても、民営化以外の手段と比較検討をされていない。民営化の財政効果については、保育予算全体から見ると多くない。園舎建て替え費用については、国や都の補助金は将来にわたって確約されたものではないということで、こちらの場合に議論がありましたように、全体の保育予算のところから見ますと、民営化して、財政効果というのはほんの少しですと、そういう議論がありまして。さらに園舎建て替えという費用は民営化すると補助金が出るというお話につきましても、もちろん将来にわたって確約されたものではないという形でご説明が前あったように思います。

現状としましては、この四つの課題につきましても資料をいただいておりますけど、これにつきましても、まだ満足いく回答がいただいているのかなというところを、この資料で示させていただきました。

○本間委員長 本間です。

ちょっと補足をさせていただくと、今、大島さんのほうからご説明させていただいたとおりではあって、保護者の委員としては、今、民営化をしようというご提案をいただいているものの、何で民営化が必要なのか、そもそも議論がよく理解ができていなくて。それぞれの課題についてということも、市のほうで何かしら議論は内部的にはされているんだろうなとは思いつつ、結局その内容が余り明確に出てきていないというふうに認識していて。それぞれの課題についての、うちでは本当に民営化だけなのかということが理解できていないので、結果、運営協議会の中でも、じゃあ今、民営化に向けて議論をするのか、そうじゃないのかとか、いわゆる民営化の是非とされているようなところなんです。ということがうまくわかっていないよねというところがあったので、一旦ちょっと、このⅢ期の年は年度が変わったという段階で、今現状の立

ち位置というのを一度、再認識しようということで、この資料を出させていただきましたというところで。

また市のほうには、今現状、保護者としては、そういう立ち位置なんだというのは、これまでも今までご説明はさせていただいていたつもりではあるんですけども、ちょっとご確認をいただいた上で、もし市のほうで、いやいやそういうところはもう十分市の中では議論をされ尽くしていますよということであれば、そこをちゃんと保護者でも理解できるようなところをこの資料にまとめていただいて、出していただければと思いますし、いや、そこはやっぱりちょっと市としても足りてなかったなということであれば、この運営協議会の間でもいいですし、議論を深めていきたいと思いますということでご提案をいただくでもいいので、何かちょっとその現状認識というところをしていただければという趣旨で出させていただいています。

○大澤委員長　　今、現状の各委員さんの中での現状の再認識というところで、資料をお出ししていたかというふうに思っています。従来のほうから、民営化をする理由という点については、私どもとしては、ご説明はさせていただいている部分はあるかと思っておりますが、そこは全て皆様方に浸透しているという状況ではなく、我々としても、まだ説明が全てし終わっているというふうなところでの認識は、まだ持っている、終わっていないというふうな形しております。

それと、また前回の運営協議会の中でも、やはり財政が困難だからというところで、資料は、やはり民営化の理由にはなっていないというような形でのご意見を承ったり、民営化が一番望ましいというふうな形で判断した資料もいただいていると、その辺も出していただきたいというふうなところに、前回もご意見を承ったというふうに思っています。

きょうの時点では、大変恐縮ですけども、きょういただいた資料をもとに、今後どのような形で協議等を進めさせていただくか、改めて市のほうでも検討をするお時間をいただきたく、きょうの時点では、この資料に関してお預かりをさせていただく形というふうな形にさせていただきたいというふうに思っていますので。本日については、この資料について一旦お預かりをさせていただいて、今日民営化の部分については、ここまでの議論というふうな形にさせていただきたいということが現状でございます。

○大島委員　　一つ補足させてください。今、本間委員からありましたようなことの念押しですけど、要望としまして、では課題として、この保育の量をきちんと説明してください。または

財政につきまして、どれだけ財政効果があるかきちんと説明してくださいというわけではないんです。それはそれで大事なことだとは思いますが、私たちが本当に知りたところは、じゃあ財政問題を解決するためには、本当に民営化以外の手段がないのか。民営化以外の手段も全て比較検討をした結果、もう民営化しかありませんと、そういう結論が出るんだとしたら、それは見せてほしいです。

同じく保育の量も、あと保育の質も全てそうですけど、民営化こそが解決する唯一の手段、または一番望ましい手段であるかということについて、一番聞きたいところなんです。民営化したらこれがよくなりますとか、これだけ解決しますではなくて、ほかの手段とも比較した結果がほしいです。というところも、ちょっと念押しさせていただきます。よろしくお願いします。

○大澤委員長　　今、大島委員のほうからいただいた意見を踏まえまして、次回、我々のほうで今後の協議等に関して、幾つかお預かりをさせていただいて、引き続き議題とさせていただきたいと思いますので、その旨できょうの議題は終了させていただきたいと思います。

○角田委員　　ごめんなさい、大島さんにまとめていただいた資料なんですけど、気付き事項としていろいろと、この点が不十分であるものを端的にまとめていただいているんですけども、これまでの協議にあるとおり、それぞれの資料に対してこの辺が不足しますというようなものは、ほかにもいろいろな論点が出てきているので、これが全てではないということをご了承いただきたいというのと。

あと、ちょっと今のお話にもあったんですけど、民営化の是非に関して、財政面からだけ説明いただきたいというものでもなく、もともと市がどういうビジョンのもと、どういう考えを保育に対して持っていてという一連の流れについての説明が、まず欲しいというところがありますので。その点、これまでの議論でいろいろとご意見させていただいたところをもう一度見ていただきつつ、資料のご説明等、ご検討をいただければと思います。

○大澤委員長　　ありがとうございます。

○本間委員長　　最後に1点だけなんですけど、一応、以前いただいた資料214というところで、今後の主な協議等のスケジュール、運協でどんなスケジュールでやるかというのを中身いただいているんですけど。実はそれによると、5月って既にもう民営化のガイドラインの説明会が入っていたというところではあって、じゃあ市としてどうしてこうかというところの中では、またフィジビリティのあるスケジュールを決めていただく必要

があると思いますので、そこはちょっとまた再検討も含めて、皆さんの中で議論をしていただければと思いますので、そこはちょっと要望させていただきます。

○大澤委員長 今、3人の委員から要望等も含めていただいておりますので、そちらのほう預からせていただきまして、また次回に向けて対応させていただきたいというところで、こちらの議題を終了させていただきたいと思います。

では、ちょっと2時間たったところではございますけれども、引き続き継続をさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、続きまして、(3)当面の課題についてでございます。

それでは、資料226の公立保育園の職員状況についてのご説明をよろしくお願います。

○三浦委員 保育の課長です。

すみません、ちょっとごめんなさい、私の数字のミスかなというところが何件かありますが、欠員の状況について、各園ごとにまとめたところがございます。

ポイントといたしますと、上から二つ目のカテゴリー、保育士等のところの非常勤さんのところで保育士業務というところがあるんですが、ここのところ、平成30年度から制度として設けたということで、各園さんの実情に応じて6時間の非常勤さんを配置しているところがございます。

ただ、ちょっとすみません、数字の精度が余り、つくっていて申しわけないんですが、ちょっと不確かなようで、お許しをいただけるのであれば、ちょっと差しかえを、次回させていただきたいと思っているんですけど、申しわけありません。

私からは以上でございます。

ちょっとすみません。現状、ちょっと各園さんのほうに確認を私がしていなかったもので、ちょっと数字が入り組んでいるところがあるみたいで、申しわけありません、ちょっと次回、差しかえをさせていただきます。申しわけありません。

○平岡委員 平岡です。

ちょっと補足で申し上げます。作成に至ったのが5月に入ってからという状況で、4月1日にさかのぼった、ちょっと入り繰りのところの差し引きを一部誤ったところがございますので、数字でありますので、ここで現状確認ができているものもあるんですが、改めて正式な数字として差しかえさせていただくべきというふうに思っておりますので、今回こちらの部分については、レイアウトの参考という形でごらんいただきまして、



次回きちんとした数字でお出しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○大澤委員長 4月1日から新年度スタートしたところでございます。11時間パートの非常勤さんがちょっと、朝夕のパートさんがまだ見つからない状況があったり、今までもありましたとおり、臨時職員の代替の職員等での欠員、また障害児、気になる方の加配の部分の対応の臨職さんが、4月のときでもちょっと欠員というような状況でスタートをしているというところで、表をつくったところと若干数字の誤りがどこかあったところではございますので、こちらのほうは、また改めて差しかえをさせていただきたいと思います。

ちょっと大変見づらい資料の中で、この議題につきまして、職員体制に関して全体的に何かご質問等がございましたら承りたいと思います。よろしくお願います。

大越委員。

○大越委員 けやき、大越です。

非常勤のところの保育士補助業務、これはどのような……、保育士補助業務か。保育士補助業務は今年度から。

○三浦委員 保育士補助業務という職ですけれども、朝と夕方のお子さんを見ていただく非常勤さんというところでございまして、ちょっと欠員が4月1日の状況では6人ほどいらっしやったということ、両方です。というところで、まだ埋まっていないのかな。ちょっとごめんなさい、数字もあやふやなものですから、次回、数字をきちんとさせていただきます。

○大澤委員長 大越さん。

○大越委員 けやき、大越です。

これだけ欠員が出た理由というのは、何なのか、主な理由とかがありますでしょうか。

○三浦委員 保育課長です。

保育士補助業務というところに、やっぱり欠が多いというところで、現状こういう状況になっておりますが。やはり朝、ちょっと早い時間からお勤めいただくというところで、なかなか募集が集まらないというところもありますし。夕番のところもなかなか、勤務時間が短いというところがあるのかもしれませんが、ここは各園ともちょっとご苦労をかけているところでございます。回答になってますか。

○大澤委員長 大越委員。

- 大越委員      けやき、大越です。  
その対応策、何かとられているのか教えていただきたいんですけど、よろしいでしょうか。
- 三浦委員      一応、市報、ホームページ等々では募集をしているんで。そういう話ではなくて、すみません、もう一度お願いします。
- 大越委員      現場さんの保育士さんの中で、常勤さんがかわりに入ってくださっているのか、もう完全に埋まっていない状態で、子どものほうが人数が多い中やられているのか、その辺を教えていただきたいんですけど。朝夕が足りていないというお話だったので、もうそこは完全に保育士不足の中やっているのか、常勤さんが入って対応されているのか。確かに、朝行くと、すごい子どもの人数の中で、保育士さん1人とか少ない人数で、けやきなんかやってらっしゃるのかなという印象を私も受けていたので。その辺、どういう対応をされているのかを教えていただきたいんですけども。
- 平岡委員      先に、ちょっと保育課のほうからお答えをさせていただきます。基本的には、各園、ちょっと厳しい状況の中、シフトを工夫していただいて、保育士などを充てて対応してもらっているというふうに聞いています。  
それから、欠けている中でご協力をいただく形で、今いるスタッフの保育士だけではなくて、11時間パートさんにもご協力をいただきながら対応しているというふうには聞いておりますが、もし園長の補足があればいただければと思います。大体そんな感じで大丈夫ですか。
- 杉山委員      わかたけの杉山です。  
朝の方のところに関しては、ちょっと今いらっしゃる方に多少時間をふやしてもらうのと、やっぱりおっしゃっていたみたいに、正規の職員が当番に立っています。夕方もやっぱり同様で、夕方はその日によって保育時間の短縮、火曜日はちょっと早目のお迎えの方もいるとか、そういうこともあるので、その日の体制の中で、この人数で何人必要だねというのは決められていますので、その人数を、パートさんが足りない部分に関しては、もちろん正規の当番も立っていて、あとパートさんと一緒にやるわけですけども、足りない分は正規が残ります。どこでも同じようなやり方かと思いますけれども。
- 大澤委員長      ほかに、この当面の課題について、ご発言ございますでしょうか。  
すみません、この資料226につきましては、ちょっと再度精査をさせていただきます。完成した段階で、また各委員さんのほうに送らせていただくという形にさせてい

ただきたいと思しますので、その旨で、修正でき次第、確定次第、各委員さんのほうにお配りをさせていただきたいと思しますので、差しかえというふうな取り扱いでよろしくお願いいたします。

それでは、次に（４）のその他についてというところで、五園連さん及び運協さんから２人の委員さんを出しております保育計画の策定委員会が、この間、２回ほど開催されておりますので、その状況について情報提供という形で平岡委員からお願いいたします。

○平岡委員　それでは、平岡のほうから、ごく簡単ではございますが、ご報告をさせていただきます。

保育計画策定委員会につきましては、３月２５日と４月１９日、これまでに２回ほど開催をしております。こちらの会議につきましては、一つとしては、世田谷区を初めとする、ほかの自治体でも策定の事例があります、保育の質のガイドラインについての策定をお願いしております。

また、今後の小金井の保育施策の方向性について、小金井の保育の課題などについても改めて共有等を行いながら定めていきたいと、この２本立てでご検討をいただいている会議でございます。

１回目の会議につきましては、正副委員長の互選ですとか会議の運営ルールなどについての確認を行わせていただいた後、検討協議の進め方について協議をさせていただき、今後、策定していく上で最も重要となります、小金井の保育の目指すもの、大切にしたいことについてを、まず検討協議いただくことについて決定したところでございます。

２回目の会議につきましては、そちらの部分の意見交換とあわせまして、事務局のほうから今後の検討に必要となります基礎的な情報として、国の保育所保育指針でありますとか、小金井市の保育の課題や特徴などについての情報把握を補完するための簡易アンケートを実施することについて検討をいただいております。

まだ２回を終えた状況ですので、具体的にこういう形でというご報告にまで至らないところでございますが、委員の皆様からは、大変活発かつさまざまなご意見を出していただいております、今後も事務局から必要に応じて参考資料などを提示しながら、引き続き検討をいただくこととなっております。

今回は５月２２日ということで、こちらについては、引き続き、小金井の保育の目指すもの、大切にしたいことについて意見等を出していただきながら、少しずつまとめて

いくというようなこととお話をさせていただいているところでございます。

大変簡単ではございますけれども、ご報告は以上です。

○大澤委員長 今、委員会で行われました保育計画の概要につきまして、情報共有のためにこちらのほうからのご説明をさせていただいたところでございます。この件につきまして、何かご質問等ございましたら。

角田委員。

○角田委員 けやきの角田です。

情報共有ということだったんですけど、資料の共有とかってしていただけたりしないんですか。

○平岡委員 平岡です。

ちょっと一瞬休憩してもいいですか。

○大澤委員長 休憩をさせてください。

休 憩

○大澤委員長 会議のほうを再開させていただきます。

今、角田委員のほうから保育計画の資料の取り扱いにつきまして、ご意見を承ったところでございます。基本的にはホームページのほうに掲載をさせていただいておりますところもございますが、ご意見としては承らせていただきまして、ちょっと内部のほうで検討させていただきたいというふうな形で発言させていただきたいと思います。

ほかにもございますでしょうか。よろしいですか。

では、その他の、皆様方から何かご質問とか何かございましたら、ご発言方お願いします。

それでは、最後に、次回の日程について調整をさせていただきたいと思います。

次回につきましては、7月27日、土曜日、15時30分から、こちらの801会議室で実施をさせていただきたいというふうに思っております。

なお、7月以降の日程の関係で、9月につきましては21日、11月につきましては16日、1月につきましては18日、3月につきましては14日というところで、保護者委員のほうからご提案をいただいているところではございますけれども、こちらのほうの9月以降の日程につきましては、再度、事務方のほうでも精査をさせていただきまして、またメール等でご返答をさせていただくという形にさせていただきたいと思います。ちょっと保育の関係等も含めて調整をさせていただきたいと思いますので、7月は27日

で確定をさせていただき、9月以降については、またメールでご報告をさせていただく形でさせていただきたいと思います。

それでは、以上で本日の日程は全て終了いたしましたので、会議を閉じ、散会いたします。大変お疲れさまでした。

閉 会